

指導事例

※ 該当する項目を**囲み線**で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・ 中学校	学 年	1・2 ・3・4・5・6年
指導場面	授業 ・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・ 知的障害 ・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	自立活動		
タイトル	ウイルスを予防しよう！～飛沫感染ってなに？～		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	説明を聞いただけでは理解しにくいことが多い。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	飛沫感染について理解し、くしゃみや咳をするときに気を付ける。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	感染予防に必要な距離を実体験する。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- ・ 男の子がくしゃみをしているイラストを用意し、先にばい菌のイラストがついた5メートルの毛糸を男の子の口につける。
- ・ 生徒がばい菌のイラストをもって毛糸をのばし、男の子からの距離である5メートルを視覚的に確認する。
- ・ くしゃみの飛沫感染は5メートルの範囲であることを伝え、マスクをつけることや、くしゃみをするときは、ハンカチで口を押える必要性を理解させた。

